

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 11 月 9 日 (2017.11.9)

【公開番号】特開 2015-78690 (P2015-78690A)
 【公開日】平成 27 年 4 月 23 日 (2015.4.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-027
 【出願番号】特願 2014-207660 (P2014-207660)
 【国際特許分類】

F 0 1 D 5/30 (2006.01)

F 0 4 D 29/34 (2006.01)

【 F I 】

F 0 1 D 5/30

F 0 4 D 29/34 D

F 0 4 D 29/34 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 9 月 27 日 (2017.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

隣り合うロータ羽根 (30) のプラットフォーム (50) の間において周方向の取り付けスロット (54) に挿入されるロック用スペーサアセンブリ (100) であって、

プラットフォーム (112) と、該プラットフォーム (112) からおおむね径方向内側に延びている複数の脚 (114) とを備えるスペーサ (110) と、

前記複数の脚 (114) の各々に接触し、該脚 (114) をお互いに向かっておおむね軸方向に弾性変形させるように構成されたクランプ (120) と、

前記複数の脚 (114) の各々に接触し、該脚 (114) に逆のおおむね軸方向に力を加えるように構成された固定ラグ (130) と

を備えるロック用スペーサアセンブリ (100)。

【請求項 2】

前記複数の脚 (114) の各々が、くさび面 (118) を備え、前記固定ラグ (130) が、複数の相手方くさび面 (134) を有するくさび (132) を備えており、前記くさび面 (118) と相手方くさび面 (134) との間の接触によって、前記逆のおおむね軸方向の前記複数の脚 (114) の各々の弾性変形が生じ、

前記相手方くさび面 (134) が、おおむね径方向外側への方向において先細りである請求項 1 に記載のロック用スペーサアセンブリ (100)。

【請求項 3】

前記固定ラグ (130) が、ロッド (136) を備え、

前記ロッド (136) を、前記プラットフォーム (112) に定められた貫通穴を通して延ばすことができ、

前記ロッド (136) に接続することができる固定具 (140) をさらに備える請求項 1 または 2 に記載のロック用スペーサアセンブリ (100)。

【請求項 4】

前記複数の脚 (114) の各々が、前記スロット (54) の凹状の壁部分 (62) に接触するように構成された接触面 (116) を備え、

前記クランプ（１２０）を、前記複数の脚（１１４）から取り除くことができる請求項１乃至３のいずれかに記載のロック用スペーサアセンブリ（１００）。

【請求項５】

隣り合うロータ羽根（３０）のプラットフォーム（５０）の間において周方向の取り付けスロット（５４）に挿入されるロック用スペーサアセンブリ（１００）であって、

プラットフォーム（１１２）と、該プラットフォーム（１１２）からおおむね径方向内側に延びている複数の脚（１１４）とを備えるスペーサ（１１０）と、

前記複数の脚（１１４）の各々をお互いに向かっておおむね軸方向に弾性変形させるための手段（１２０）と、

前記複数の脚（１１４）の各々に接触し、該脚（１１４）に逆のおおむね軸方向に力を加えるように構成された固定ラグ（１３０）と

を備えるロック用スペーサアセンブリ（１００）。

【請求項６】

前記複数の脚（１１４）の各々が、くさび面（１１８）を備え、前記固定ラグ（１３０）が、複数の相手方くさび面（１３４）を有するくさび（１３２）を備えており、前記くさび面（１１８）と相手方くさび面（１３４）との間の接触によって、前記逆のおおむね軸方向の前記複数の脚（１１４）の各々の弾性変形が生じ、

前記相手方くさび面（１３４）が、おおむね径方向外側への方向において先細りである請求項５に記載のロック用スペーサアセンブリ（１００）。

【請求項７】

前記固定ラグ（１３０）が、ロッド（１３６）を備え、

前記ロッド（１３６）を、前記プラットフォーム（１１２）に定められた貫通穴を通して延ばすことができ、

前記ロッド（１３６）に接続することができる固定具（１４０）をさらに備える請求項５または６に記載のロック用スペーサアセンブリ（１００）。

【請求項８】

前記複数の脚（１１４）の各々が、前記スロット（５４）の凹状の壁部分（６２）に接触するように構成された接触面（１１６）を備える請求項５乃至７のいずれかに記載のロック用スペーサアセンブリ（１００）。

【請求項９】

圧縮機部分と、

タービン部分と、

前記圧縮機部分と前記タービン部分との間の燃焼器部分と

を備えており、

前記圧縮機部分または前記タービン部分の一方が、

周方向に延びる連続的な取り付けスロット（５４）を定めている前側および後ろ側ボストを備えているロータディスク（２８）と、

複数のプラットフォーム（５０）のうちの１つからそれぞれ延びており、前記複数のプラットフォーム（５０）の各々が内側に延びている根元によって前記取り付けスロット（５４）に固定される複数のロータ羽根（３０）と、

前記複数のプラットフォーム（５０）のうちの少なくとも２つの間の空間に配置されるロック用スペーサアセンブリ（１００）と

を備え、

前記ロック用スペーサアセンブリ（１００）が、

プラットフォーム（１１２）と、該プラットフォーム（１１２）からおおむね径方向内側に延びている複数の脚（１１４）とを備えるスペーサ（１１０）と、

前記複数の脚（１１４）の各々に接触し、該脚（１１４）をお互いに向かっておおむね軸方向に弾性変形させるように構成されたクランプ（１２０）と、

前記複数の脚（１１４）の各々に接触し、該脚（１１４）に逆のおおむね軸方向に力を加えるように構成された固定ラグ（１３０）と

を備えているターボ機械。

【請求項 10】

前記複数の脚（114）の各々が、くさび面（118）を備え、前記固定ラグ（130）が、複数の相手方くさび面（134）を有するくさび（132）を備えており、前記くさび面（118）と相手方くさび面（134）との間の接触によって、前記逆のおおむね軸方向の前記複数の脚（114）の各々の弾性変形が生じ、　

前記相手方くさび面（134）が、おおむね径方向外側への方向において先細りであり、　

前記固定ラグ（130）が、ロッド（136）を備え、　

前記クランプ（120）を、前記複数の脚（114）から取り除くことができる請求項 9 に記載のターボ機械。